

### コガネムシの華麗な？食生活

皆さんはコガネムシが何を食べているか知っていますか？実はコガネムシの幼虫は“根切虫”とも呼ばれ、植物の根を食べる、芝生にとっては厄介な害虫なのです。

コガネムシは、コウチュウ目コガネムシ科に属するコガネムシ類の総称で、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイ等、色々な種類があります。

コガネムシ（黄金虫）という名のとおり、成虫の背中（外骨格）は金属のような光沢があります。色は褐色から緑、青、赤、黄色っぽいものまで様々で、種によっても違いますが、同じ種でも様々な色の個体があります。

成虫の体長は種によっても違いますが、大体1.0～2.0cm程です（種によっては2.5cm程になるものもあります）。年1回発生で、成虫は主に夏（6～9月）に発生します。ただし、発生のピークが2回ある場合もあるようです。

成熟した成虫はその後土中に産卵し、幼虫の状態越冬します。寒い地方では、成虫になるまでに2年ほどかかる場合もあるそうです。

さて、このコガネムシ、成虫は広葉樹の葉等を食べ（種によっては成虫になってからほとんど何も食べないものもあります）、食害された葉はレース状になります（右上写真参照）。幼虫は根切虫と呼ばれ、腐植や植物の根を食べます。根を食べられた植物は、枯れてしまうこともあります。

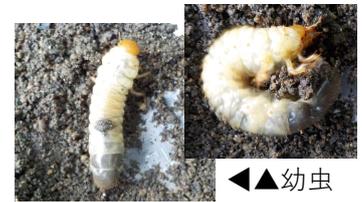
ちなみに、カブトムシやカナブンもコガネムシと同じ科に属します。コガネムシと見た目が似ているカナブンの食事内容は、カブトムシに似ていて、幼虫は腐植、成虫は果物や樹液を食べます。



▲コガネムシ（成虫）に食害された葉（サクラ）



◀サクラに群がる成虫



◀▲幼虫

※全て7月に撮影

### コガネムシとカナブンの見分け方

カナブンはコガネムシと比べて

- 頭部が四角い
- 羽の付け根の逆三角形が比較的大きい（コガネムシは小さくて丸みを帯びる）
- 体長が2cmほどで大きめ
- 成虫は樹液・果実を餌とする



カナブン



コガネムシ

### 芝生の根を加害するコガネムシのなかま

成虫は何も食べない

セマダラコガネ  
ウスチャコガネ  
チビサクラコガネ  
オオサカスジコガネ

広葉樹（ウメ、サクラ、クリ、ブドウ、コナラなど）やマメ類等の葉や花など

成虫は別の植物を食べる

ドウガネブイブイ  
ヒメコガネ  
コイチャコガネ  
ヒラタアオコガネ  
マメコガネ  
コフキコガネ

コガネムシの防除方法としては、薬剤散布が挙げられます。成虫の加害については、7～8月の産卵期に被害が拡大するため、なるべく飛来初期に対策を行うことが重要です。幼虫は植え付け前や冬期間（越冬中）に土壌に処理する剤で対処すると良いでしょう。また、個体を発見した場合はすぐに取り除くようにしましょう。

## 製品紹介

### アセルプリン

### 新しい殺虫効果 低薬量で高い残効性



- 低薬量・低濃度で高い殺虫効果があり、さらに残効性も高いため予防的に散布可能です。
- 従来の殺虫剤の多くは害虫の神経系に効くものですが、アセルプリンは筋肉に作用するという新しい作用機作（ジアミド系）なので、従来の薬剤で効果が劣るようになった害虫にも効果が期待できます。



- 有効成分：クロラントラニプロール 18.4%
- 毒性：普通物
- 包装：100ml/本、6本入り/ケース

- ミツバチや天敵昆虫などの有用生物に対する安全性も確認されています。
- 蚕に対しては影響があるので飛散に注意してください。

作物名	適用害虫名	使用時期	薬量/10a (希釈倍率)	希釈水量/10a
芝	スジキリヨトウ	発生前～発生初期	20ml	200L
	シバツトガ・タマナヤガ		30ml	50～300L
	コガネムシ類幼虫		50ml	500L
樹木類	ケムシ類	100ml	200～1000L	
		10000～20000倍	200～700L	

### イザナミフロアブル

### 新しい作用機構で長く効く 大きくなった虫にも



- これまでにない新しい作用機構により、今までの殺虫剤が効きにくくなった虫にも優れた効果を発揮します。
- “散布液がかかった虫”にも、“散布液がかかった葉を食べた虫”にも効果があります。
- 浸透性に優れ、葉の表に散布液がかかるだけで、葉裏にいる虫にも効果があらわれます。
- 長期残効性に優れ、約6週間以上害虫の加害を防ぎます。
- 耐雨性にも優れ、散布後に雨が降っても効果が落ちづらい薬剤です。
- 齢期の進んだ虫（大きくなった虫）にも安定した高い効果を示します。



- 有効成分：フルキサメタミド 10.0%
- 毒性：普通物
- 包装：500ml/本、4本入り/ケース

- 蚕に対しては影響があるので飛散に注意してください。

作物名	適用害虫名	使用時期	希釈倍率	使用液量/㎡
芝	スジキリヨトウ・シバツトガ・タマナヤガ	発生初期	2000倍	0.2L
	ケムシ類			0.5L

### ダイリーグ粒剤

### ゲンバイムシ・アブラムシに カミキリムシにも



- 株元に散布するだけなので、処理が簡単です。
- アブラムシ類、ゲンバイムシ類に高い効果があり、長期間効果が持続します。
- ミツバチに影響が少ない薬剤です。
- 臭いが少なく、扱いやすい剤です。
- 蚕に対しては影響があるので飛散に注意してください。
- 花き類・観葉植物に使用する場合、幼苗期の使用では薬害を生じる恐れがあるため使用しないでください。



- 有効成分：アセタミプリド 1.0%
- 毒性：普通物
- 包装：1.5kg/袋、12袋入り/ケース

作物名	適用害虫名	薬量/10a	使用時期	使用方法
つつじ類	ゲンバイムシ類	6～12kg	発生初期	株元散布
さかき	アブラムシ類	12～30kg		
	サカキブチヒメヨコバイ	30g/㎡		
しきみ	ゲンバイムシ類	12kg		
クロトン	アブラムシ類	12～30kg		
かえで	カイガラムシ類	30kg		
	ゴマダラカミキリ	30g/㎡		
樹木類 (つつじ類、しきみ、クロトン、かえで、さかきを除く)	アブラムシ類	12～30kg		
花き類・観葉植物		1g/株		

取扱い・お問合せは—



緑を育み、未来へつなぐ

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地  
TEL:076-434-0036 FAX:076-434-4968